



「現場へ行こう！」 ～四国の旬を特等席で～

四国地方整備局企画部

ダイナミックさ、緻密さ、かっこよさ、スマートさ、進化し続けている建設産業の魅力は「現場」にたくさん詰まっています。

四国地方整備局では、担い手確保に向けた建設産業の魅力発進、社会資本整備の重要性の理解促進を目的とし、産官学で構成する四国建設広報協議会の関係機関にもご協力いただきながら、直轄工事現場以外にも含めて、四国地方整備局管内の「旬な現場・施設」を紹介する特設サイト「現場へ行こう！」を運営中です。本サイトには管内の“今だけ”と“わくわく体験のモト”を詰め込んでいます。

サイトの運営においては、サイト内の活気が保たれるよう工夫し、本サイトのファンを獲得していくこと、コンテンツの質を高め「現場へ行こう！」のブランド化を図り、内容が相乗的に向上していくことを意識し、情報発信を行います。

1. 「現場へ行こう！」サイトについて

四国地整 HP のトップ画面に四国地方整備局のオリジナルキャラクター「しこくくん」がデザインされた「現場へ行こう！」のアイコンを設置しています。ここをクリックすると専用ページにジャンプします。



▲四国地方整備局 HP のトップ画面



▲「現場へ行こう！」のトップ画面

「現場へ行こう！」サイトはこちらから／



▲四国地整オリジナルキャラクター
「しこくん」

2. 「現場へ行こう！」サイトの特徴

見学可能な現場は、橋梁・トンネルなどの大規模な工事現場から施設の維持管理など多種多様な用途を盛り込み、様々なニーズに合致できるようになっています。その他、インフラ DX 体験やユニバーサルデザイン歩行体験などが出来る専用施設も盛り込まれています。



▲現在公開中の見学可能箇所
(現場がイメージ出来る写真をアイコンとして表示)



▲各工事現場のアイコンを押すと
表示される現場情報

管内の、“今しか見られない”、“ここでしか見られない”を紹介する「今が旬の推し現場」というコーナーもあります。管内で動いている直轄工事現場の中で、四国地整の推しを春夏秋冬（四半期毎）でご紹介するもので、各担当が考えたキャッチコピーもご注目いただきたいポイントです。

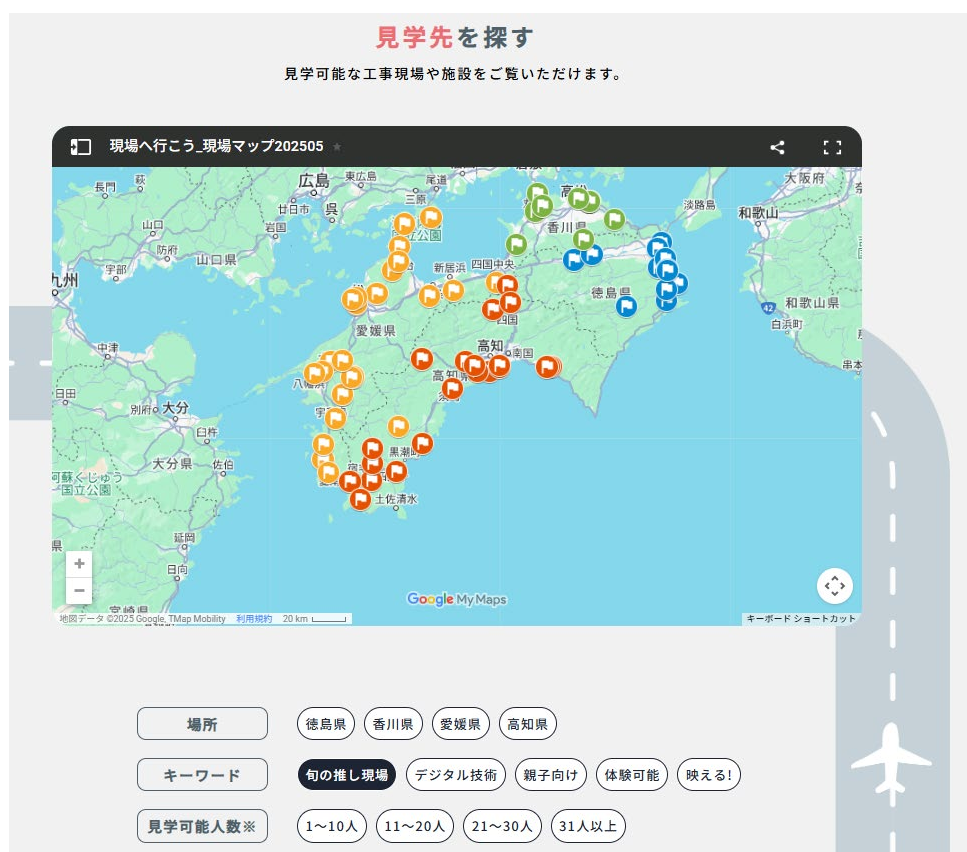


▲「現場へ行こう！」サイト中程にある「今が旬の推し現場」



▲現在公開中の推し現場

また、現場の検索や申し込みをよりしやすいような工夫をしています。四国の地図上に対象現場をマッピングしており、それぞれの場所を簡単に確認できるようになっています。また、「旬の推し現場」「デジタル技術」「親子向け」「体験可能」「映える」などのキーワード検索や、見学人数での絞り込み検索が可能です。申込みは本サイト内から可能です。



▲見学先を探すためのマップ及び条件絞り込み画面

これまでの傾向として、更新頻度が低くなり陳腐化していくというものが多くある中、本サイトは四国地整管内の“今”を少しでも閲覧いただく方へ届けるため、四半期に1回の更新とし、関係機関へ照会や推しの現場抽出依頼を行っています。

現場の詳細情報を記載している個票については、盛り込む情報を統一しフォーマット化したものを作成し依頼することで、現場への負担が過度にならないようにしています。また、“やらされている感”なくサイト運営が続けられるよう、写真の撮り方や個票の記載内容については細かく指示せず、各現場担当にお任せしています（迫力満点の瞬間を収めた写真や、綺麗な風景とマッチした構造物の写真など、現場担当者の愛を感じるアイコン写真も増えてきました！また、個票には、担当者のみが知る“今だけ情報”が盛り込まれているものもあります！）。推し現場の抽出についてもノルマを設けることなく、各部で推したい現場を抽出いただくような仕組みにしています。

今後もサイト内の活気が保たれるよう様々な工夫を行い、サイト閲覧者や工事担当者に、「このサイトならではの」に共感しファンになってもらえるよう、「現場へ行こう！」サイトのブランド化を図れるよう、今後も試行錯誤しながら取り組みたいと思っています。

3. 動画を使った情報発信

ブランドは作成者のみでは成立しないので、SNSを使った情報発信にも力を入れ、ブランド認知をしてもらえるよう取り組んでいます。SNSでは特に動画を使った情報発信に力を入れています。

現場でしか感じられないスケール感や驚くほどスマートになった最先端技術、それを巧みに操る技術者の様子など、WEBページだけでは伝えきれないものを動画にし、四国地整公式YouTubeチャンネルやXで発信しています。四国地方整備局では、“四国地方整備局オフィシャル広報パートナー”を任命し、建設業の魅力などの情報発信に取り組んでいます。動画では、パートナーが実際に現場へ行って感じたことを、第三者視点で発信しています。公開中の動画では、今しか味わえない特別な瞬間を見学いただく様子や、現場で活躍されている技術者さんにお話を伺う様子などがご覧いただけます。オフィシャル広報パートナーが取材する現場もこちらのサイトに登録されているもので、取材先はサイトの新着情報からご確認いただけるようになっています。実際にパートナー取材のYouTube動画を見て、見学を希望される方もいらっしゃいました。



▲「現場へ行こう！」再生リスト
(四国地整 YouTube チャンネル内)



▲サイトトップにある新着情報
(動画やXの投稿、見学した現場もこちらから確認可能)

四国地方整備局 > 四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度

四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度

四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度について



▲R6.8.7 任命式の様子
(左から 芋工場林・豊口局長・mimika・United Archers)

社会インフラが果たす役割や社会資本整備の意義、建設産業の魅力等について、SNS等を通じてわかりやすく情報発信してもらい、四国における建設産業の担い手確保につなげることを目的として、四国地方整備局オフィシャル広報パートナー（以下「オフィシャル広報パートナー」という。）を設置します。オフィシャル広報パートナーとして活動を希望する個人等をオフィシャル広報パートナーとして任命し、その取組を四国地方整備局ウェブサイト等で紹介するほか、任命を受けた方の活動において、オフィシャル広報パートナーである旨を明記することが可能となります。

▲四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度特設サイト トップ画面

＼特設サイトこちらから／



4. 「現場へ行こう！」旬の推し現場を取材

こちらは実際に本サイト内の「旬の推し現場」に登録されていた、国道196号今治道路で橋梁の桁を架設する瞬間（今しか見られない瞬間）を見学した際の様子を紹介したものです。



＼本編動画こちら／



＼おまけ動画こちら／



▲「現場へ行こう！」国道196号今治道路で新しい橋が架かる瞬間を特等席で！
（四国地整公式 YouTube より）

【オフィシャル広報パートナーさんコメント】

橋が架かる瞬間を、未来の地図をつくりあげている瞬間を特等席で見学させていただきました！

現地に橋が到着するまでも、すごく多くの技術者の方々が関わり、想いを繋いで造られていることを知り、また現地でその方々の想いを受け継ぎ、これだけ大きな鋼の塊を精度良く施工する現場の皆さんの姿、団結力を見て、感じて、すごく感動しました！活躍されている皆さんのキラキラした笑顔が印象的な現場でした！

この現場では、橋梁を架設する瞬間のダイナミックさはもちろん、最先端のDX技術と昔ながらの熟練技術の両方を駆使して大きな鋼の塊をズレなくピタッと設置する緻密さを実際に現地で体感していただきました。実際に施工する業者さん達のお話しをお伺いしながら、五感をフルに使って「現場」を楽しまれているパートナーの姿を見て、検索ではなく見学へ行くことの意味を少しでも感じていただけると幸甚です。

5. おわりに

本サイトが生まれ変わって約1年です。まだまだブランド化にはほど遠いですが、閲覧者や工事担当者が自発的に自分たちの現場を広報できるような価値のあるサイトになるよう、皆様からのご意見を伺いながら今後も運営していきたいと思っています。

是非、四国へお越しの際には本サイトをご覧ください、四国の旬を特等席で体感すべく、現場見学のお申し込みを一同お待ちしております。